

# 一管区水路通報第5号

平成17年2月4日

第一管区海上保安本部

第47項	北海道南岸	苫小牧港	ガントリークレーン設置作業
第48項	北海道南岸	浦河港西北西方	射撃訓練
第49項	北海道南岸	襟裳岬	無線方位信号所一時業務休止
第50項	北海道南岸	十勝港	掘下げ作業延期
第51項	北海道南岸	落石岬～襟裳岬～津軽海峡	海洋調査
第52項	北海道北岸	紋別港	防波堤完成(延長)
第53項	北海道北岸	オホーツク海南西海域	海洋調査
第54項	北海道西岸	石狩湾	射撃訓練
第55項	北海道西岸	小樽港	海上フェンスブイ設置
第56項	瀬戸内海、広島港～北海道南岸、苫小牧港		曳航作業

水路通報の内容については、インターネット及びFAXで入手出来ます。

インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/tuho/index.html>

FAX番号 0134-32-9319 (情報ボックス)

100#:最新号、1～50#:バックナンバー(数字は号数)  
0134-27-6190 (ポーリングサービス)

一管区水路通報や水路図誌に関するお問い合わせは下記へどうぞ。

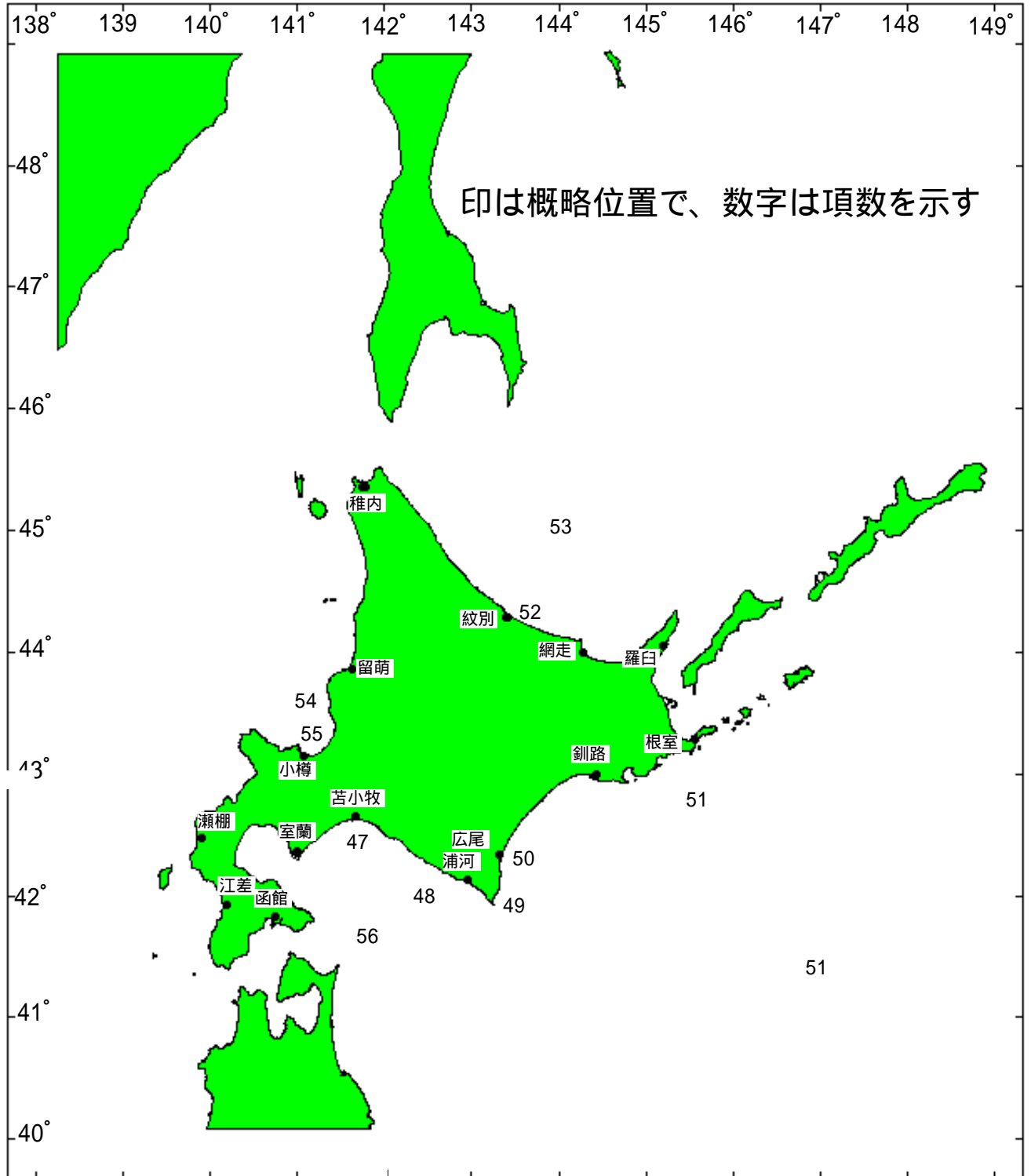
第一管区海上保安本部海洋情報部 監理課 情報係

〒047-8560 小樽市港町5番3号小樽港湾合同庁舎(5階)

TEL(0134)27-0118(内線2515) FAX(0134)32-9301

メールアドレス [sodan1@jodc.go.jp](mailto:sodan1@jodc.go.jp)

# 索引図



17年47項 北海道南岸 - 苫小牧港、第4区 コンテナクレーン設置作業

下図に示す区域で、クレーン台船等によるコンテナクレーン設置作業が実施される。

期間 平成17年2月22日から3月4日（予備日を含む）までの日出から日没

区域 苫小牧港（東部）第4区中央ふ頭前面付近海域

海図 W1033B

備考 コンテナクレーン積込台船：天佑（10000 t 積み、長さ156m）

曳船：早瀬丸（298 t、長さ40m）

警戒船1隻配置

港内曳航全長270m

苫小牧港外着予定2月21日2300頃

出所 苫小牧港長



17年48項 北海道南岸 - 浦河港西北西方 射撃訓練

浦河港西北西方約18Mにある陸上自衛隊「静内対空射撃場」で、射撃訓練が実施される。

期間 平成17年2月20日～4月15日の0800～1730

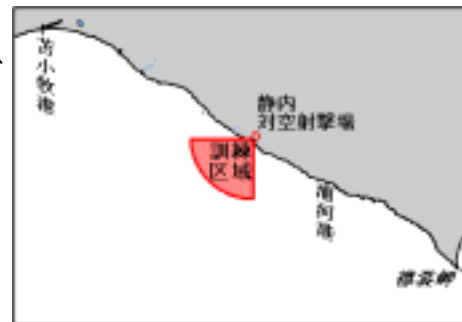
区域 42-18-26N 142-26-33Eを中心とする半径20 km、  
方位180°～270°の扇形海面及びその上空

標識 射撃開始及び終了時にサイレン吹鳴

射撃時間中は監視塔に赤色吹流しを掲揚

海図 W1030

出所 防衛庁航空幕僚監部



17年49項 北海道南岸 - 襟裳岬 無線方位信号所一時業務休止

襟裳岬無線方位信号所の空中線改修機器整備に伴い、下記のとおり一時業務が休止される。

期間 平成17年2月11日から2月25日までの毎日0835～1730の間

休止内容 襟裳岬灯台の船舶気象通報ラジオ放送（1670.5kHz）

出所 第一管区海上保安本部交通部

17年50項 北海道南岸 - 十勝港 掘下げ作業延期

一管区水路通報H16年第40号488項関連（期間延長）

下図に示す区域で、クラブ船等による掘下げ作業が実施されている。

期間 平成17年2月28日までの日出～日没

海図 W35

出所 釧路海上保安部航行援助センター



17年51項 北海道南岸 - 落石岬～襟裳岬～津軽海峡 海洋調査

下図に示す区域で、調査船「高風丸(487t)」による水質調査及び気象観測等の海洋調査が実施される。

期間 平成17年2月16日から28日まで

海図 W1070 (LCW共)

備考 2月16日小名浜出港

2月28日函館入港

出所 函館海洋気象台



17年52項 北海道北岸 - 紋別港 防波堤完成(延長)

下図に示す紋別港第4防波堤の延長工事が完成している。

- 区域 下記4地点を順に結ぶ線に囲まれた区域
- (1) 44-20-32N 143-23-11E (岸線上)
  - (2) 44-20-24N 143-23-11E
  - (3) 44-20-24N 143-23-10E
  - (4) 44-20-32N 143-23-10E (岸線上)

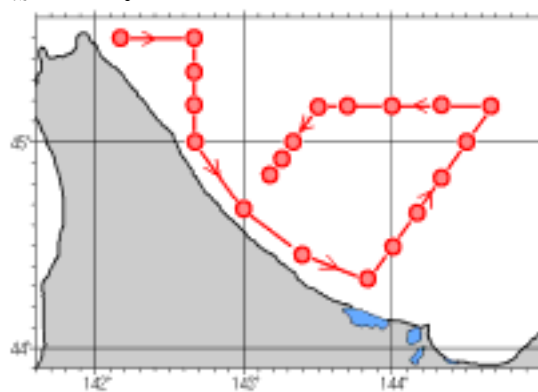
海図 W29  
出所 紋別海上保安部



17年53項 北海道北岸 - オホーツク海南西海域 海洋調査

下図に示す地点で、巡視船による海水観測が実施される。

- 期間 平成17年2月11日から17日まで  
海図 W37  
出所 第一管区海上保安本部海洋情報部



17年54項 北海道西岸 - 石狩湾 射撃訓練

下図に示す区域で、巡視船による射撃訓練が実施される。

- 期日 平成17年2月15日(予備日16日)の1000~1700  
区域 43-28.3N 140-54.0E を中心とする半径5M円内  
標識 国際信号旗「NE4」掲揚  
海図 W28  
警戒 自船警戒  
出所 小樽海上保安部



17年55項 北海道西岸 - 小樽港、第2区 海上フェンスブイ設置

下図に示す区域に海上フェンスブイが設置される。

- 期間 平成17年2月5日1300~1600(設置作業)  
2月5日1600~2月9日0730(展張設置)  
2月9日0730~0830(撤去作業)
- 区域 下記4地点を順に結ぶ線に囲まれた区域(概位)
- (1) 43-11-43N 141-00-51E (岸線上)
  - (2) 43-11-45N 141-00-50E
  - (3) 43-11-42N 141-00-42E
  - (4) 43-11-41N 141-00-43E (岸線上)

海図 W5  
標識 黄色ブイ3m間隔計114個  
黄色灯付浮標37m間隔計8個  
「接近禁止」「Keep Out」表示旗3本  
出所 小樽海上保安部



17年56項 瀬戸内海、広島港、～本州東岸～北海道南岸、苫小牧港 曳航作業

下記のとおり、コンテナクレーンを積んだ台船が曳航回航される。

期間 平成17年2月14日から2月22日まで

回航計画 2月14日1100広島出港  
2月15日0110佐田岬沖、1350足摺岬沖  
2月16日0140室戸岬沖、1620潮岬沖  
2月17日0540大王崎沖、1740御前崎沖  
2月18日0920野島崎沖、2110犬吠崎沖  
2月19日0950小名浜沖、  
2月20日0050金華山沖、1500トドケ崎沖  
2月21日0240八戸沖、1040尻屋崎沖  
2月21日2300苫小牧港港外  
2月22日0800苫小牧（東部）中央ふ頭

海図 W 1 0 7 0 (LCW共) - W 1 0 7 2 (LCW共)

備考 曳船「早瀬丸(298t)」  
台船「天佑(10000t積み)」  
曳航全長570m（港内270m）

出所 苫小牧港長



#### 【おしらせ】航海用電子海図（ENC）の販売方法等について

海上保安庁では、航海用電子海図（ENC）の販売方法として、「セル単位での提供」、「ライセンス制の導入」、「コピープロテクトの実施」を平成17年4月1日から導入することとなりました。導入に伴う主な変更点は次のとおりです。

#### 1. 変更点

##### セル単位の提供

「セル」とは一定の緯度経度で区切られた電子海図データをファイルしている升目のことです。

これまで、「東京湾至足摺岬」などのように海域毎の情報を納めたCD-ROM単位で日本周辺海域のENC 15枚を提供してきましたが、今後、海域より小さな「セル」単位でENCを入手することが可能となります。

##### ライセンス制の導入

「ライセンス制」とは、ENCの使用許可のことです。

これまで、利用者がENCを入手した直後に同じ区域のENCが新たに発売された場合には、再度購入する必要がありましたが、今後、1年間のライセンス契約期間内であれば無料でアップグレードすることができます。さらに、ENCの更新情報である電子水路通報をインターネットから無料で入手できるようになります。

##### コピープロテクトの実施

「コピープロテクト」とは著作権保護のための不正複製防止策のことです。

昨年、国際水路機関で国際的なコピープロテクトの仕様が作成されたことに伴い、当該仕様に基づく保護処理が実施されます。

#### 2. その他参考事項

セル単位での提供等に伴い、平成17年4月1日より現行のENCの販売を停止します。

現行のENCは、平成19年3月31日に廃版する予定です。

既にENCを利用している方に対しては、ライセンス契約を結ぶことにより、平成20年3月まで無料で使用できます。

電子水路通報は、インターネット経由で無料提供します。ただし、CD-ROMでの提供を希望する方には、実費で提供します。

#### 問い合わせ先

日本水路協会電子海図事業部 電話03-3543-0752 ホームページ <http://www.jha.jp>

又は

海上保安庁海洋情報部航海情報課 電話03-3541-4510